



沖縄・鹿児島県で牛流行熱が発生

本年9月上旬から10月初旬にかけて、沖縄県および鹿児島県において、牛流行熱の発生がありました。

検出されたウイルスについて遺伝子解析を行った結果、近年、中東や東アジアを中心に流行しているタイプと近縁のウイルス株であることが分かりました。

今回の国内での発生事例は、すべて黒毛和種での発生で、比較的小規模にとどまっていますが、海外では同じタイプのウイルス株による大規模な流行が報告されています。

農家の皆様方は、牛の毎日の健康観察を十分に行うなど飼養衛生管理基準を守ってくださるようお願いいたします。

牛流行熱とは（届出伝染病）

○病原体：牛流行熱ウイルス

○症状：突発的な発熱（41～42℃）。

その後1～2日で回復することが多い。

また食欲不振、流涎（よだれ）、流涙、関節痛による跛行や起立不能などの症状も呈することがあるが、解熱に伴って回復するものがほとんどである。

致死率は1%以下だが、まれに重症例での死亡例がある。

○感染様式：蚊やヌカカなど吸血昆虫による媒介。そのため、夏～晩秋に発生が増加する。

○予防治療：吸血昆虫が活動する前の不活化ワクチン接種。治療法は対症療法。



牛流行熱による鼻水
（動物衛生研究所HPより）

**家畜に異状が見られたらすぐに
青森家畜保健衛生所にご連絡ください**

電話：017-764-1744

夜間・休日：090-2274-0474

今回の牛流行熱発生状況

発生地名	発生状況			発症	症状	備考	
鹿児島県 ※	1	肉用繁殖	1戸1頭	黒毛和種 成牛	10/5～	食欲不振、起立意欲 低下、水様性鼻汁	同居牛に 類似症状 あり
	2	肉用繁殖	1戸1頭	黒毛和種 成牛	10/7～	食欲不振、軽度流 涎、水様性鼻汁	
	3	肉用繁殖	1戸6頭	黒毛和種 繁殖牛5 育成牛1	8/7～	発熱、元氣消失、 食欲不振等	
	4	肉用繁殖	1戸2頭	黒毛和種 繁殖牛2	9/7～	発熱、元氣消失、 食欲不振等	
	5	肉用繁殖	1戸5頭	黒毛和種 繁殖牛5	9/22～	発熱、元氣消失、 食欲不振等	
	6	肉用繁殖	1戸1頭	黒毛和種 繁殖牛	10/6～	発熱、元氣消失、 食欲不振等	
沖縄県	1	肉用繁殖	3戸4頭	黒毛和種 繁殖牛4	9/15～	発熱、起立困難、跛 行	

※島しょ以外の地域も含む